

第4回 雄物川大規模氾濫時の減災対策協議会 （平成30年1月19日開催）

雄物川の減災に係る取組方針（改定案）を承認・避難状況アンケート中間報告・タイムラインの見直しを確認

- 協議会委員18名の参加のもと、「第4回雄物川大規模氾濫時の減災対策協議会」を開催し、平成29年7月・8月の大雨に対する課題等について、意見交換及び検証を行なうとともに、平成29年7月・8月洪水を踏まえた「雄物川の減災に係る取組方針（改定案）」が承認された。
- 避難状況アンケートについて、中間報告を行なった。
- 平成29年7月・8月の大雨対応の実績から、タイムラインの見直しをしていくことを確認した。
- 平成29年度の取り組み状況について、各委員から、説明及び意見交換を行なった。

開催日：平成30年1月19日（金）

※代理出席

会場：大仙市大曲交流センター

委員構成：秋田市長*

秋田県

総務部 危機管理監*

横手市長*

建設部 部長*

湯沢市長

秋田地域振興局長

大仙市長*

仙北地域振興局長

仙北市長*

平鹿地域振興局長

美郷町長*

雄勝地域振興局長

羽後町長*

気象庁

秋田地方気象台長

東成瀬村長*

国土交通省

秋田河川国道事務所長

玉川ダム管理所長

湯沢河川国道事務所長



協議会の開催状況

主な発言内容（発言順）

■秋田市 危機管理監

- ・住民の皆様への情報伝達で、実際にはなかなか伝わっていなかったことが事後の検証で判明しており、今後、住民への確に情報伝達することが課題だと思う。

■横手市 危機管理監

- ・気象台、湯沢河川国道、平鹿地域振興局などの関係機関相互のホットラインや横手警察署のリエゾンなどと密接に連携し災害情報を共有できた。

■湯沢市長

- ・各地域に自主防災組織を組織し、ハザードマップをたたき台にしながら、我が地域の安全のためにはどうするかということ、住民自身が考えて対応できるようにこれから大いに進めていかなければならない。

■大仙市 副市長

- ・大雨の際、気象台、湯沢河川国道からホットラインを頂き、その状況を踏まえて、早め早めの避難指示を発令したこと、また、広域消防や消防団、自主防災組織、町内会から地域の皆様にお声掛けして頂いたことが、今回人的被害が無かった要因ではないかと捉えている。

■美郷町 住民生活課長

- ・各集落ごとに土のうを準備し、いざという時は自主防災組織や個別で対処して頂けるような体制を作った。



委員からの発言

